

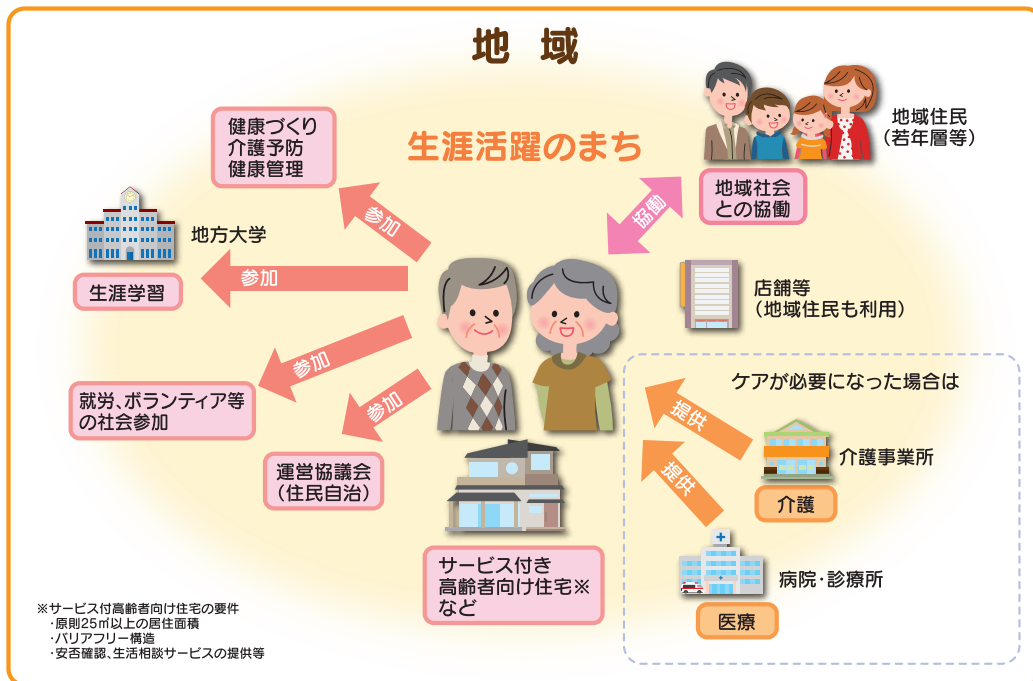
大田原市生涯活躍のまち 基本計画概要版

国の生涯活躍のまち(日本版CCRC)構想

国は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「地方移住の推進」を掲げ、主な施策として「生涯活躍のまち(日本版CCRC)構想」を取りまとめました。
生涯活躍のまちとは、東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくりを目指すものです。

「生涯活躍のまち」構想における高齢者の生活のイメージ

- ①健康でアクティブな生活の実現と継続的ケアの提供
- ②自立した生活ができる居住環境の提供
- ③入居者の参画の下、透明性が高く安定した事業運営によるコミュニティの形成を一体的に実現



※事業の透明性・安定性の確保の方策:入居者の参画、情報公開、事業の継続性確保等

大田原市生涯活躍のまち基本計画

- ◆ 医療・福祉のまちづくりを推進してきた大田原市では、「医療・福祉・健康」を地域資源として捉え、国の生涯活躍のまち構想を踏まえ、大田原市ならではの高齢者が住みやすいまちづくりについて「大田原市生涯活躍のまち」として推進します。
- ◆ 「生涯活躍のまち」は多分野にわたるまちづくりであり、既存の官民の取組や関連計画との連携を前提とします。
- ◆ 本事業の推進によって、高齢者のみならず、子ども、障害者、生活困窮者等の様々な課題を抱える方も含めて、市民全員の「生涯活躍のまち」の実現が可能となります。そこで、本計画を地域福祉計画における「福祉以外の様々な分野との連携に関する事項」として位置づけ、「福祉でまちづくり」という視点をもって事業に取り組みます。
- ◆ 計画期間は地域福祉計画と整合性を図り、平成31(2019)年度～平成35(2023)年度の5年間とし、必要に応じて見直しを行います。

大田原市生涯活躍のまちの コンセプトと将来像

◆大田原市の地域課題解決、地域活性化の実現に向けた「生涯活躍のまち」の取組

本市では地域経営、地域振興の一環として以下の視点から「生涯活躍のまち」に取り組みます。

- ・「栃木県北地域の拠点都市」「八溝山周辺地域定住自立圏中心市」の視点
- ・「医療・福祉のまちづくり」「大田原市医療福祉産業都市構想」の視点
- ・「生涯活躍」の視点
- ・「地域福祉」の視点
- ・「移住希望者受け入れ」の視点

◆大田原市生涯活躍のまちで目指す将来像

本市には栃木県北地域及び八溝山周辺地域定住自立圏の拠点都市として、これからの超高齢社会における「健康長寿・生涯活躍」の牽引が期待されることです。

病院、大学、企業等の医療・福祉関連施設が集積し、かつ、恵まれた自然と都市機能を有することから、全市を挙げた「健康長寿・生涯活躍」を実現する生涯活躍のまちづくりの取組によって、地域住民はもとより東京圏や県内からのアクティブシニア等も担い手として取り込みつつ、持続可能な地域づくりを目指します。

大田原市モデルとしての「健康長寿・生涯活躍」を確立し、
持続可能な地域づくりを牽引する生涯活躍のまちの実現

「大田原市ならではの」特徴を活かした「生涯活躍のまち」の実現

国の「生涯活躍のまち」

東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくりを目指すもの

大田原市「生涯活躍のまち」の狙い

- 【**栃木県北地域の拠点都市**】「**八溝山周辺地域定住自立圏中心市**」の視点から
地域における「健康長寿・生涯活躍」先行モデルとしての役割
- 【**医療・福祉のまちづくり**】「**大田原市医療福祉産業都市構想**」の視点から
医療福祉系企業、国際医療福祉大学、医療機関、介護施設等の集積を活かした地域経済の活性化
- 【**生涯活躍**】の視点から
社会活動ボランティア、国際医療福祉大学と連携した生涯学習プログラム、グリーンツーリズム・温泉・ゴルフ等のレジャー等へのアクティブシニアの参加
- 【**地域福祉**】の視点から
地域包括ケアシステムの深化・推進による地域福祉活動の充実
- 【**移住希望者受け入れ**】の視点から
東京圏における移住希望を持つアクティブシニアの受け入れによる人口減少対策

大田原市生涯活躍のまちで目指す将来像

大田原市モデルとしての「健康長寿・生涯活躍」を確立し、
持続可能な地域づくりを牽引する生涯活躍のまちの実現

生涯活躍のまち実現に向けた枠組み

《「生涯活躍のまち」の基盤》

- ◆まちづくり（住宅、都市計画等）
- ◆地域包括ケアシステム

- ◆地域福祉計画「福祉の視点」によるまちづくり

《大田原市の地域資源・強み》

- | | |
|--|------------------|
| ◆県北、八溝山周辺地域の拠点 | ◆公共施設・都市施設の集積 |
| ◆医療福祉産業都市 | ◆交通 |
| ◆生涯活躍
1) 学び・生涯学習
2) 社会・地域参加
3) 就労 | ◆地域包括ケアシステム・地域福祉 |
| ◆まちづくり | ◆移住促進 |

生涯活躍のまちの展開イメージ

① 全市的な「健康長寿・生涯活躍」と持続的なまちづくりの推進

生涯活躍のまちの実現に向けては、市外からのアクティブシニア人材の受け入れも視野に入れつつ、まずは市民の健康長寿・生涯活躍に向けた地域包括ケアシステムを発展させた地域連携のプログラム構築の推進を図ります。まちづくり（住宅、都市計画等）、地域包括ケアシステムをベースとして、大田原市ならではの「生涯活躍のまち」を目指して、本市が持つ地域資源を最大限に活用しながら、行政の関係各部署、関係機関等が連携した全市的な取組を展開し、持続的なまちづくりを推進します。

② 大田原市に特徴的な3つのコア機能を活かした展開

本市では「健康長寿・生涯活躍」に係る地域コミュニティの基礎的機能は概ね中学校区等を単位として住民等の主体的取組を活かす形で多様に展開され、その上位・高次機能的な役割を果たす施設等が市内の都市・地域核（まちなか）に拠点的に集積しています。

そこで、地区ごとに有する『コミュニティ機能』をベースに、『まちなか機能』や本市の特徴的地域資源である『大学等連携機能』を組み合わせることによって、より多様な生活、活躍ニーズに応え、地域課題解決や地域経済の多様な発展を図ります。

県北・八溝山周辺の豊かな地域資源や医療福祉をはじめとした都市機能集積を背景とした全市的なまちづくりを推進し、産業振興、地域包括ケアシステム等を基盤として、各地区での住民主体の多様な担い手や施策が連携した取組により、多様な「生涯活躍」を実現し、多世代共生の持続的な地域発展につなげていくことを目指します。

概ね中学校区単位での「地域包括ケアシステム」や「生涯活躍」に係る取組基盤をもとに
3つのコア機能を組み合わせた各地域での展開により、
全市的な「健康長寿・生涯活躍」と持続的なまちづくりを実現するイメージ

大田原市モデルとしての
「健康長寿・生涯活躍」を確立し、
持続可能な地域づくりを
牽引する生涯活躍のまちの実現



県北・八溝山周辺の豊かな地域資源や医療福祉をはじめとした都市機能集積を背景に、全市的なまちづくり、産業振興、地域包括ケアシステム等を基盤として、各地区の住民等をはじめとする多様な分野の担い手・施策が連携した展開により、地区ごとに特性を活かした「生涯活躍」が実現され、多世代共生の持続的な地域発展につなげていく。

◆3つのコア機能を組み合わせた、各地域での展開

本市の中学校区単位での「生涯活躍」「地域包括ケアシステム」等の取組基盤を活かして、全市的な「健康長寿・生涯活躍」の推進に向けて、地域ごとに以下の3つの機能の組合わせで展開していく。

- ◎コミュニティ機能（地域単位で備える基礎的機能）
- ◎まちなか機能（中心市街地、小さな拠点等）
- ◎大学等連携機能（地域を越えた本市の特徴的機能との連携）

◆概ね中学校区単位での「生涯活躍」「地域包括ケアシステム」の基盤

「生涯活躍」「地域包括ケアシステム」は、概ね中学校区、日常生活圏域ごとに住民等の主体的取組を活かす形で多様に展開されている。

- ・自治会（地区単位）
- ・生涯学習推進協議会
- ・学校運営協議会
- ・生活支援体制第2層協議体、見守り組織 等

実現に向けた取組

大田原市生涯活躍のまちの実現に向けて、以下の基本的な考え方にに基づき、分野横断的な視点によって、多分野の取組の連携を図りながら事業を推進します。

◆ 高齢者対策にとどまらない包括的な地域づくり

地域包括ケアシステム (ささえ愛おたわら助け合い事業)	これからの高齢化率の上昇、人口減少
<ul style="list-style-type: none">・ 第1層、第2層協議体における協議 → 高齢者に関する地域の課題、資源、解決策・ 地域のニーズ → 高齢になっても在宅で、今までどおり暮らしたい <u>困っている高齢者を地域でどう支援していくか</u>	<ul style="list-style-type: none">・ 地域、産業界等の担い手不足 → 元気な高齢者（アクティブシニア）の活躍 → 子育て中の方、障害者も活躍できる場・ 団塊の世代 → 趣味・娯楽、社会参加、学習欲求等 アクティブシニアも住みよい地域づくり・ 地域課題の多様化、複雑化 → 多分野連携

高齢者対策だけでなく、生涯学習、スポーツ、社会参加（ボランティア、就労）、まちづくり等、他分野の施策との連携、協力が必要となる

分野横断的な地域づくりの計画が必要

- ◆ 将来に向けた市民生活・就業に係る長期的なプランニング
- ◆ 超高齢社会への対応、持続可能なまちづくりにおける高齢者の活躍
- ◆ これからの地域づくり、新しい暮らし方・働き方の実現を牽引する担い手人材の育成と確保
- ◆ 中学校区規模を単位にした地域としての仕組みづくり
- ◆ 全市的な仕組みづくりと地域における具体的な取組

今後、既に展開されている様々な施策、活動をそれぞれ充実させながら、地域単位で基本計画に基づく着実な取組を推進していくことを目指します。

◆ 地域単位の「生涯活躍のまち形成事業計画」の策定と事業実施

各地域で具体的な取組を示した「生涯活躍のまち形成事業計画」を策定の上、事業を推進し、全市的展開に向けて、地域における地域包括ケアシステムの構築状況等を勘案しながら、段階的に取組地域を増やしていきます。

◆ 先行エリア（モデル地区）の設置

本計画期間内に先行エリアを設定し、具体的な取組の検討及び事業計画の策定を進めます。

大田原市生涯活躍のまち基本計画 概要版(平成31(2019)年3月)

発行：大田原市保健福祉部高齢者幸福課

〒324-8641大田原市本町1-4-1

TEL 0287-23-8865 FAX 0287-23-4521